

9条連 ニュース

— 世界へ未来へ —
Peace Constitution League
Since 1995.8.15
No.347

2024年1月20日 毎月1回 20日発行 1997年4月14日第3種郵便物認可

主な記事

巻頭言 植野 妙実子	1
ガザをめぐる平和主義の問題 永山 茂樹	2,3
「人権」を考える 河西 香織・小林 寿江	4,5
第18回平和研修を開催 新潟地区9条連事務局	6
映画評論 朝倉 亮	6
宮城県9条連総会&平和集会 宮城県9条連事務局	7
政治展望台 62 高野 孟	7
2024 新春クロスワード	8
アーティクルナイン	8

代表 浅井基文／浅野健一／植野妙実子／C・ダグラス・ラミス
常岡せつ子／中山弘正／樋口陽一／山家悠紀夫

〒141-0031 東京都品川区西五反田3-2-13
目黒さつきビル303号
TEL 03-5747-9994
FAX 03-5747-9919



ホームページはこちら

<https://9joren.net/> E-mail: 9joren@ams.odn.ne.jp 創刊号1995年1月20日発行 定価100円 年間購読料1,500円(郵送料含む) 郵便振替口座 00160-2-96579「9条連」

年明け早々に発生した能登半島大震災によりお亡くなりになられた皆様のご冥福をお祈りすると同時に、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

昨年は、政治的に不安定な年であった。次々に閣僚が不祥事でやめ、挙げ句の果てに政治資金パーティーをめぐる問題で、裏金を受け取った疑いが浮上した閣僚や自民党の役員の交代となった。政治資金規正法の問題点は以前より指摘されていた。しかし、認識はありながらも積極的に改革は行われてこなかった。このことは民主主義が何なのかの自覚がない、ということの表れである。

議会制民主主義とは、選挙を通じて表明された国民の意思により政府が形成され、国政の方針が決定されていくものである。したがって、まず選挙制度が国民の意思を反映するものでなければならぬ。また、政治に関わる情報が国民に広く開示され、国民が批判をしたり意見を述べたり議論したりすることができるようでなければならない。国民の意思は選挙を通じて現れるが、現実には、政党、政治団体、政治家の政治活動を通して、政治の場において表明される。その時に重要なのは、国民一

議会制民主主義と 信頼性のある政治

植野 妙実子



人ひとりが尊重され、自由で平等であるということである。資金を多く提供する者が政治に影響をもたらして、政治を左右するなら、それは自由民主主義ではない。政治家は基本的に「全国民を代表する」(憲法43条)者であり、個別の利益誘導に関わってはならない。自己の良心にしたがって独立に職務を遂行すべき存在である。しかし日本ではこのような基本的な理解は広がっておらず、政治家にお願ひすればなんとかしてくれる、そのために少し「包む」という袖の下がまかりとおっている。政治家が解決すべきは「国民の利益全体」(それが憲法では公共の福祉とされている)を見通す問題である。

裏金疑惑のみならず、岸田政権に

なつて特に際立つのは、国会の軽視、閣議決定の横行である。憲法には「国会は、国権の最高機関」(憲法41条)と定められている。まず国会で十分に議論し(最近では委員会の方で議論が先にされるが)、その上で、メリット・デメリット双方をしっかりと見極めて物事を決定することが望まれる。安保三文書などの国策を左右する重要事項を閣議決定で決めるなど、もつてのほかである。

こうした国民軽視の状況が続くと、その先にあるのはシニシズム、政治的無関心である。これが最も怖い。独裁的国家を許すことにつながる。選挙には、少なくとも国民の70%以上が意思を表明するようでないこと、民主主義は成り立たない。政治は自分たちの生活に密着しているのである。どのような政治が行われるかによって、私たちの生活は変わる。軍拡をすれば必ずそのつけは国民の生活に跳ね返る。今こそ我々は政治改革を求め、国民の生活に沿った信頼性のある政治が行われるよう求めるべきだと思う。この言葉が虚しくならないような一年であることを心から望んでいる。

つねのまみこ／中央大学名誉教授